

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育実習指導Ⅱ Guidance and Evaluation Child Care Practicum Ⅱ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択必修(保育実習指導ⅡまたはⅢのいずれか))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程必修科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範	本館3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
保育所における実習に向けて、子育て支援を含めて保育所の機能を理解するとともに、乳幼児を含む子どもの見方と記録の取り方と係わり方について理解を深める。また、部分実習や責任実習に向けての準備をし、発表し合う。				
授業の目標				
①保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に学ぶことができるようにする。 ②実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培うことができるようにする。 ③保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。 ④保育現場における子育て支援の実際と保護者に対する接し方について学ぶことができるようにする。				
授業の方法				
文字資料や映像を使って事例(ケース)を紹介し、具体的に子どもの見方や記録の取り方や係わり方を学ぶ。また、実習先での部分実習や責任実習の内容を検討し、発表し合う。				
学習の成果(学習成果)				
①実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえた上で、現場に必要な保育技術を実践することができる。 ②保育所における子育て支援機能について挙げ、実践することができる。 ③子どもの見方と記録の取り方と係わり方について分析を深め、実際に子どもの成長を支援することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の内容・進め方・評価の方法)			
第2回目	保育現場における子育て支援活動の実践事例の理解			
第3回目	保育実習実践に向けた準備① 構想を練る			
第4回目	保育実習実践に向けた準備② 製作			
第5回目	保育実習実践に向けてた製作物の発表と振り返り			
第6回目	これまでの実習日誌の共有と課題の抽出(実習日誌持参)			

第7回目	これまでの実習での学びの共有と課題の抽出（子どもや保護者との関わり方など）	
第8回目	実習実践映像から学ぶ	
第9回目	実習のエピソードを通して、子どもの理解と対応の仕方について学ぶ	
第10回目	子ども（1～6歳）の遊びの発達についての理解	
第11回目	これまでの部分実習・責任実習内容の共有（指導案の持参）	
第12回目	実習持参書類の準備と確認（健康チェックシート等の作成）	
第13回目	保育実習に向けて、実習に臨んでの添削指導。課題や実習園でのオリエンテーションの確認。	
第14回目	保育実習に向けて、部分実習・責任実習の内容を検討	
第15回目	保育実習に向けて、部分実習・責任実習の指導案作成	
事前・事後学習	授業内容を踏まえて、実習の活動内で使用する教材等の準備を進めること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート	30%	授業の課題に沿ってレポートを提出する。授業の内容を理解した上で、自分の考えを展開することが求められる。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	グループ議論での課題抽出と改善策を明確に発表できること。
その他		
教科書と参考図書		
適宜資料を配布。 参考図書：『保育実習の手引き』（佐野日本大学短期大学）		
履修上の留意点・ルール		
<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的、積極的に学習課題に取り組むこと。遅刻厳禁。 ・製作に必要な教材、材料、用具は各自が持参する。 		